



普及センターだより

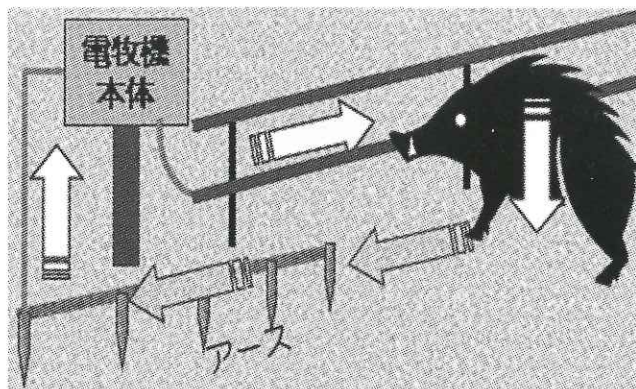
獣害対策のための効果的で安全な電気柵の利用

獣害対策において電気柵は、安価で容易に設置でき、獣に電気ショックを与えることで持続的な防除効果が期待できます。一方で、不適切な設置方法による感電事故が発生しており、安全に留意した設置が必要です。

【電気柵を効果的に活用するために】

電気柵は、地面等の(－)に接した獣が柵線(＋)に触れて電気が流れ、衝撃を与えることで効果を発揮します。電気の流れをイメージし、適切な設置と管理を行いましょう。

- 柵線は、支柱の外側(獣側)に設置する。
- 柵線の間隔や高さは、獣種に合わせる。
- 獣を土の部分に立たせて柵線に触れさせるよう、電気が流れにくい地面(アスファルト等)から50cm以上離して柵を設置する。
- 電圧はこまめに点検し、柵線が地面や草、金属、水面と接触していないか漏電防止のため確認する。
- 獣の侵入状況をみながら、ネットやトタン、金網柵との組合せを行い、柵を進化させる。



電気柵における電気が流れるイメージ

電気柵を安全に 利用するための 主な注意点

- ①危険である旨の表示をすること
(人が見やすい場所に子供にも分かりやすい表現で)
- ②出力電流が制限される電気柵用電源装置を使用すること
- ③漏電遮断機を設置すること
- ④専用の開閉器(スイッチ)を設置すること



危険である旨の表示

宇治茶ブランドのさらなる躍進に向けて

【本年の一番茶の品質の傾向と改善策】

本年も、各地域で良質なお茶が生産されたところですが、新芽の生育が急速に進んだことから、一部で以下のものが見られました。

揉み茶では初期からしまり不足、茎の目立つもの、破碎した荒茶もあり、また、てん茶ではくもりや展開

不足のもの、染まりのよくない荒茶がありました。内質は、全体的に香味が薄く、水色では赤みや黒みを帯びたもの、味ではむれ味のものもありました。別表に主な指摘事項に対する改善策を記載します。良質茶生産の参考にしてください。

表：主な指摘事項とその改善策

項目	揉み茶外観	てん茶外観	水色(揉み茶・てん茶)	滋味(揉み茶・てん茶)
指摘事項	しまり不足	くもり・展開不足	赤水	むれ味
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 新芽の伸びをよく観察し、適期に摘採する。 風量などを適切に管理し、よく揉み込み、適期に取り出す。 精揉でおもりを引き遅れないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 適期の生葉を摘採し、蒸しを均一にする。 粘りなどが出ないように適切に蒸す。 	<ul style="list-style-type: none"> 蒸し過ぎや蒸し不足にならないよう均一に蒸す。 乾燥温度が高温になりすぎないように管理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 適期の生葉を摘採し、蒸しを均一にする。 生葉を適正に保管する。 円滑に乾燥する。

【関西茶品評会に向けて】平成28年度には関西茶業振興大会が京都府で開催されます。宇治茶ブランドの一層の高揚のために、積極的な出品をお願いします。

【出品茶園のこれからの管理】

茶園の仕立て

- 自然仕立て園
 - 畝間の交差した枝を剪枝し管理しやすくすると共に畝間土壌に日光を当てて地温を確保しましょう(10月下旬)。
 - 一番茶の芽揃いを良くするため、枝梢の頂芽を3葉の位置で摘心しましょう(11月中旬～)。



○はさみ摘み園

- 一番茶の萌芽と芽揃いを良くするため、硬化不十分な秋芽を除去し、充実した枝梢で樹冠面構成しましょう(10月下旬まで)。

今後の防除

- 越冬ハダニの最終防除(時期:11月中旬越冬開始時期の直前)
 - 来春のハダニの発生量は晩秋の防除にかかっています。
- 赤焼病の予防(時期:11月～2月)
 - 予防的に銅水和剤を散布する。

茶品評会 審査結果

☆第68回関西茶品評会成績

農林水産大臣賞 (敬称略)

玉露	下岡清富(宇治田原町)
てん茶	阪田広樹(久御山町)

産地賞

かぶせ茶	宇治田原町
玉露	京田辺市
てん茶	城陽市

☆第69回全国茶品評会成績

農林水産大臣賞 (敬称略)

かぶせ茶	下岡清富(宇治田原町)
てん茶	菊岡政次(城陽市)

産地賞

てん茶	城陽市
-----	-----

入賞された皆様、おめでとうございます。

～農薬を安全に正しく使いましょう～

・・・山城の新規就農者紹介・・・

はじめの一步!

ふじ さわ とも ゆき
藤澤 智行さん
(京田辺市)



藤澤さんは、平成27年からナス・えびいもを中心に農業経営を開始した京田辺市期待の新規就農者です。

同氏は民間企業に勤務した後、モノづくりや自営業を志して国や府の事業を活用し普及センターをはじめ関係機関の支援のもと、地元農家で研修されました。研修中は作業の段取りや資材の使い方等、初めての経験に苦慮しましたが、2年間の研修で基礎的な栽培技術や知識を体得されました。

「研修を通して地域との繋がりができ、農地や小屋等の貸借に結びつきました。この地元との信頼関係を大切にしながら、作業の効率化を図り経営の安定をめざします。」と意気込みを語っていただきました。

地域特産を活かす多角経営をめざして

かく やま だい すけ
角山 大輔さん
(木津川市)



角山さんは、奈良県等で農業実践を積み実家の農業手伝いを経て、平成24年に経営を独立させ本格就農されました。現在、ナス、ハナナを栽培し、高品質なナスを生産されています。

本年、冬期生産で有望視するハナナの新たな需要開拓と生産性向上のため、「小さな経営革新チャレンジ支援事業」に取り組み、大都市圏での流通調査や作期拡大に向けた栽培試験を行っています。

「将来は地域特産物を中心に新鮮で季節感あふれる味を需要者に届けられるよう、生産から流通販売までを手がける多角経営を実現したい。」と頑張っておられます。

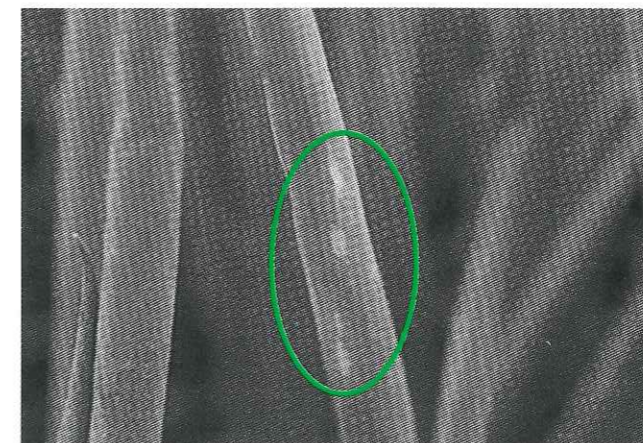
ネギえそ条斑病対策

～地域全体でネギアザミウマの防除対策に努めましょう～

ネギえそ条斑病は、ネギアザミウマによって媒介されるウイルス病です。本病が発生したネギは商品価値が低下します。

【病気の特徴】

ネギの葉が退色し、えそ条斑(淡黄色～白色)が発生、症状が進むと拡大ゆかし、葉が萎凋・枯死します。



ネギえそ条斑病(写真提供 病害虫防除所)

【ネギアザミウマについて】

ネギやタマネギ等の葉を食害する害虫で、ナス、キュウリ、キャベツなど多くの農作物や雑草でも発生・増殖します。

【ネギアザミウマに対する防除対策】

- ネギだけでなく他の作物や家庭菜園でも農薬散布に努めましょう。
- 圃場周辺の雑草を除草しましょう。
- 残渣を放置せず、適切に処分しましょう。
- 防虫ネットをトンネル被覆等で活用しましょう。赤色ネットを用いるとより効果的です。
- 畝をマルチで被覆しましょう。

※これらの対策は、地域ぐるみで実施するのが効果的です。

★なお、農薬散布に当たっては、希釈倍率など、適切に使用してください。

～余裕のある作業で、事故を防ぎましょう～

「京やましる新鮮野菜ファンクラブ」が発足しました

平成23年に発足した「やましる新鮮野菜応援プロジェクト」では山城産野菜の商品力と知名度を上げる取組を進めています。

平成27年4月1日には「京やましる新鮮野菜ファンクラブ」が発足し、会員登録数は70名を超えています。今後、SNSによる情報発信も実施する予定です。

8月5日にはファンクラブが中心となり、井手町で消費者交流会を開催し、万願寺とうがらしの収穫作業体験の後、農薬使用を減らすための栽培の工夫や料理方法の紹介などで新鮮野菜への理解を深めました。



お知らせ

山城地域で具体的に就農を希望する方に対して、毎月第3木曜日に就農相談会を実施しています。

詳しくはお問い合わせください。

また、ホームページでも詳細を御案内しています。

<http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/n-fukyu/index.html>

<今後の開催予定>

11月19日(木)	田辺総合庁舎
12月17日(木)	木津総合庁舎
1月21日(木)	田辺総合庁舎
2月18日(木)	田辺総合庁舎
3月17日(木)	木津総合庁舎

直売所紹介

なごやか市

なごやか市は、井手町多賀のJA京都やましる井手町支店の敷地内にある直売所です。平成21年3月のオープン以降、出荷会員が増え、現在は、82名で運営されています。

店頭には、春はタケノコやハナナ、夏はトマト、ナス、万願寺とうがらしやキュウリ、秋はカキ、ミカン、冬にはハクサイやダイコンなどが豊富に並び、コギクを中心とした花など多種多様な農産物が四季折々のにぎわいを感じさせてくれます。特に多賀のミカンは味が濃いと評判です。



また、地元で手作りのおはぎ、ヨモギ大福、水無月、わらびもち、ばらすしや鯖寿司なども販売されており、連日、とてもおいしいと好評です。

なごやか市は、いつでも旬のものを買える地産地消の拠点としての役割を果たしています。また、直売所では、品数を増やすために珍しい野菜の栽培講習会を開いたり、安心安全な農産物を届けるために農薬取扱講習会等も行っています。皆さんも一度立ち寄って、井手町産の農産物を味わってみませんか。